

組織切片中の因子を可視化！

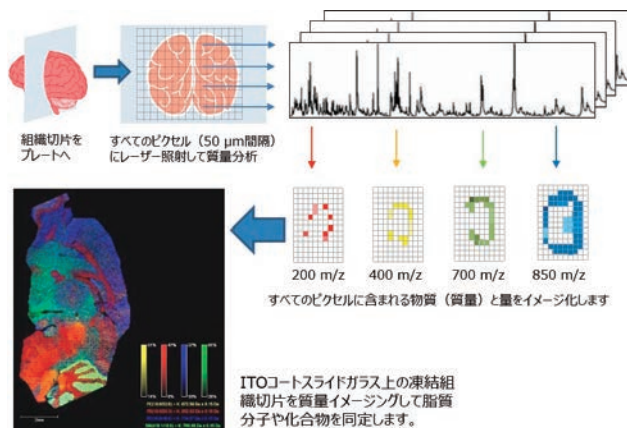
MALDI イメージング受託サービス

イメージング質量分析は、組織薄切片などの試料中の特定分子の局在を可視化できる技術です。この技術を用いて、お客様の試料中のタンパク質、脂質、薬物、代謝物などを分析・測定します。

特長

- 分析する試料の溶出などの処理は不要です。
- 組織切片を化合物質量ごとに色分けし、分布を可視化できます。
- 組織切片上で酵素処理することで、ペプチドや糖鎖の解析も可能です。
- 医学・食品/栄養学分野におけるイメージングによる解析に有用です。
- 解析試料タイプ：組織切片、TLC プレートなど
- 使用装置：ultrafleXtreme (Bruker Daltonics 社)

分析例



薄切片レーザー照射による質量分析



TLC プレートのイメージング

脂質や化合物を分離した TLC プレートを直接イメージング解析した。

ご注文方法/価格

詳細は当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。
[メーカー：PPH]

LC-MS を用いた最先端定量
プロテオーム受託解析サービス

ここがすごい

(株)プロテオバイオロジクスは、タンパク質・リン酸化タンパク質同定数で世界一の実績を有します¹。また、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所発のベンチャー企業として認定されました。

1. Nature (2014), J. Proteome Res. (2017).

特長

- 最新鋭 LC-MS (Orbitrap Fusion™ Lumos™, Thermo Fisher Scientific 社) 3 台を含む、計 8 台の最新 LC-MS を用いた定量プロテオーム解析です。
- ショットガン解析による網羅的タンパク質解析により、二次元電気泳動を行わずにタンパク質で 7,000~8,000 種類、リン酸化ペプチドで 20,000 サイト以上を同時に同定できます。
- 細胞、組織などの試料だけでなく、エクソソームや生検検体などの微量な試料の解析も可能です。

- プロテオーム解析専門家による実験デザイン、データの解釈、インフォマティクスを用いたパスイメージングなどのご相談も承ります。

サービス内容

ショットガンプロテオミクス

- ・ 網羅的タンパク質定性・比較定量解析
- ・ 網羅的リン酸化タンパク質定性・比較定量解析
- ・ 網羅的タンパク質間相互作用解析

ターゲットプロテオミクス

- ・ タンパク質相対定量、絶対定量解析
(興味のあるタンパク質にターゲットを絞ったより精度の高い)
(タンパク質・リン酸化タンパク質定量解析)

解析対象試料

- 動物種：Uniprot データベースに登録されている動物種すべて
 - 試料の種類：血清・血漿^{*1}、組織、培養細胞および培養上清^{*2}、エクソソーム、SDS-PAGE 試料 (インゲル消化)
- *1 血清・血漿の解析対象はエクソソームに限りません。
*2 培養上清の解析は無血清培地に限りません。ただし、解析対象がエクソソームの場合は、血清を含む培地でも解析可能です。

ご注文方法/価格

詳細は当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。
[メーカー：PBL]